
小山ひととき展「光を放つもの -biophoton-」1月28日から開催！
新たな技法で生み出される唯一無二の作品
- 東京・JINEN GALLERY -



【開催日時】

日程: 2025年1月28日(火)-2月2日(日)

開催時間: 12:00～19:00 ※金曜日20:00迄／最終日16:00迄 会期中無休・入場無料

※作家在廊日 1月31日(金)2月1日(土)2月2日(日)

【会場】JINEN GALLERY

東京都中央区日本橋堀留町1-8-9 渡菊ビル新館6階

<アクセス>

GoogleMap <https://maps.app.goo.gl/mP4rQWmrUQipZgqm9>

東京メトロ日比谷線: 人形町駅から徒歩3分／小伝馬町駅から徒歩6分

【概要】

JINEN GALLERYでは、小山ひととき展「光を放つもの - biophoton -」を開催いたします。本展は、JINEN GALLERYでの初個展となります。

彼女の作品は写真技法を用いて表現されていますが、「写す」という行為を超え、光そのものを描き出そうとする意志が感じられます。彼女が思い描くイメージと写真が捉えた図像の間には、鑑賞者が自由にイメージを膨らませる余白が広がっています。唯一の作品でありながら、それを解釈する世界はひとつに限定されることなく、さまざまな物語が並行して同時に動き出します。重なり合う記憶と、それを上書きする記録との調和は、固定された概念に縛られることなく、広がり続ける無限の可能性を感じさせます。

ぜひギャラリーにお越しいただき、彼女の作品をご高覧いただければ幸いです。

JINEN GALLERY かの自然

【展示内容について】

本展では、2024年から取り組む新たな技法による 新作・旧作を含めたおよそ25点を展示販売します。「記憶と唯一性」をテーマに制作を続ける小山は、2022年から独学で暗室での制作を開始。主に印画紙に物をおいて感光させる技法(フォトグラム)を用いて再現不可能な唯一の作品を制作しています。新たな表現として、太陽光と合成漆、洋金粉などを用いた新作も展示されます。

2023年には海外の現代アートプラットフォームであるCONTEMPORARY ART COLLECTORS「Artists Programme 2024」に選出される等、国外へも活動の幅を広げています。2025年「余白のアートフェア / MARGINAL ART FAIR 福島広野」招待作家。



《Solaris Lux#15 夜明けに輝く No.1》925×1284mm, Gelatin silver print, synthetic urushi, gold brass powder, Unique, 2024



(左)《Gold Experience#1 変化の兆し No.4》254×203mm, Gelatin silver print, synthetic urushi, gold brass powder, Unique, 2024

(右)《Crystal Photographs#26-1 光粒遊覧 No.1》195×244mm, Gelatin silver print, Unique, 2024

【メディア掲載用】画像ダウンロードURL

https://drive.google.com/drive/folders/1vHvRNNMvMUKjiGAVg-CN_vdPI54eJji9?usp=sharing

CVダウンロード(PDF)

<https://drive.google.com/file/d/1utbYsAC3nFUjLhVSNs1OzsDFkwM9Aq7T/view>

Statement

「記憶」と「唯一性」をテーマに、光を用いた作品を制作している。
こどもの頃、未来はどこまでも続く暗闇の大穴のように見えた。
深夜にベランダから見上げた星は小さな希望の光だった。

人の記憶はレイヤー構造だと思う。今、この瞬間も過去の出来事が層のように積み重なり、記憶となって唯一無二の私たちを形作っている。制作では主にフォトグラムという技法を用いて、自分の記憶と光を重ね合わせていく。そのとき、私の記憶と物質そのものの記憶が響き合い、時間や生物の種類を超えた、細胞の拡大図や宇宙のような姿が浮かび上がる。

日本では、すべてに生命が宿る「八百万の神々」というアニミズム的な考え方がある。また仏教には「空(くう)」という思想があり、それはすべてが「私」であり、私は「すべて」であるという考え方に通じている。生きるあなたも、死にゆく私も、同じ命の循環の中にあると知るとき、耐え難い悲しみさえも解き放たれていくように感じる。暗室で生まれるイメージは、偶然と必然が織りなす生命の痕跡だ。私はその姿を光によって残したいと願っている。

小山ひとき

作家略歴

小山ひとき Hitoki Koyama

<https://hitokikoyama.com>

略歴

1981年 岐阜県生まれ
2013年 フィルム写真を撮影はじめる
2022年 暗室で制作開始

個展

2025「光を放つもの -biophoton-」JINEN GALLERY、東京
2024「星渡りたち」田口美術、岐阜
2023「結晶写真」DOUBLE TALL ART & ESPRESSO BAR、東京
2021「発露の方角」名古屋栄三越、愛知
2021「架空のセルフポートレート」ピッカフェ、岐阜
2018「010001010 -或る日の明滅-」動画上映 IIIrd Place、愛知
2017「架空のセルフポートレート」Gallery40、愛知

グループ展

2024「スイカ美術展」HRDファインアート、京都
2023 京都国際写真祭2023 KG+「JAPAN PHOTO AWARD Vol.10 + INTUITION」HOTEL ANTEROOM KYOTO Gallery 9.5、京都

主な委託展示、販売

2025「余白のアートフェア / MARGINAL ART FAIR 福島広野」招待作家、福島
2023 バルセロナ国際アートフェア「FIABCN」Museu Marítim de Barcelona、スペイン
2023「I Never Read, Art Book Fair Basel」Japan Photo Award出品書籍に掲載、スイス
2022「サマーアートフェスティバル」名古屋栄三越、愛知
2021「三越美術特選会」名古屋栄三越、愛知
2021「CREATOR & ARTIST WEEK 若手アーティストフェア」名古屋栄三越、愛知

受賞

2023 CONTEMPORARY ART COLLECTORS「Artists Programme 2024」国際コンペティション13名選出
2019 清流の国ぎふ芸術祭「第2回ぎふ美術展」写真部門 入選
2018「Photo × Art Field 2018」審査員賞受賞(審査員 水谷イズル氏)

作品掲載

2024 CONTEMPORARY ART COLLECTORS「Artists Interviews」
2023 JPA MAG「JAPAN PHOTO AWARD & INTUTION 2023」
2023 WEB「IMA ONLINE」

【お問い合わせ】HK Exhibition事務局 広報担当: 佐藤 E-mail: kurukuru_yurayura@hotmail.com 電話: 080-4860-4797